

2025年度 安全報告書



黒部峡谷鉄道株式会社

2026年 5月 18日

1. お客さまへ

平素より黒部峡谷鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から当鉄道の事業運営に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は、日本一急峻な地形を有する黒部峡谷において観光鉄道事業を営み、地域に根差した観光振興と黒部峡谷の魅力発信に取り組んでおります。あわせて、急峻な峡谷が織りなす雄大な自然景観と、水力発電事業とともに歩んできた鉄道文化を多くのお客さまにお届けしてまいりました。

2025年度の営業につきましては、前年同様、列車の運行区間を猫又駅までの折返し運転とし、自然環境への影響に配慮しながら、落石や土砂流入等の沿線状況や気象条件を踏まえ、安定した輸送サービスの提供に努め、多くのお客さまに黒部峡谷ならではの景観や四季の移ろいをお楽しみいただいております。

また、国土交通省の定める「安全管理規程に係るガイドライン」に沿って定めた安全管理規程に基づき、継続的な安全管理体制の維持・向上に取り組んでおります。

なお、本報告書では、輸送の安全確保に向けた取り組みをご紹介しますが、今後さらに安全・安心で快適なご乗車を提供していくため、お客さまからのご意見・ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

黒部峡谷鉄道は、今後とも「安全・安心の確保」を基軸とし、より多くのお客さまに黒部峡谷ならではの景観を楽しんでいただけるよう、サービスの充実と山岳鉄道の旅の魅力向上に努めるとともに、黒部峡谷の自然と共生した持続可能な事業運営を目指し、弛まぬ取り組みを続けてまいります。

黒部峡谷鉄道株式会社
代表取締役社長 鈴木俊茂

2. 企業概要

社 名 黒部峡谷鉄道株式会社

所在地 富山県黒部市黒部峡谷口11番地

沿 革

- ・大正12年 日本電力株式会社により軌道敷設開始
- ・大正15年 猫又駅まで開通
- ・昭和 5年 小屋平駅まで開通
- ・昭和12年 樺平駅まで開通
- ・昭和26年 関西電力株式会社が事業を引き継ぎ
- ・昭和28年 地方鉄道法による免許取得
- ・昭和46年 黒部峡谷鉄道株式会社発足

3. 基本方針

当社では安全とサービスを柱とし、社会の信頼に応えお客さまへ最良のサービスを提供するための「経営理念」及び「行動指針」のもと、安全第一を具現化した「輸送の安全確保に係る行動規範」を制定し、社長以下全従業員が一丸となり輸送の安全・安定運行に努めています。

経営理念	わたしたちは「安全・安心」そして「夢・感動」をおとどけすることでお客さまの満足を得るとともに社会に貢献することを目指します。
行動指針	<ul style="list-style-type: none">◆ すべてはお客さまのために、これがわたしたちの原点です。◆ 誠実であり続けることから、わたしたちへの信頼が生まれます。◆ 時代を先取りする柔軟な発想で、新たな価値を創造します。◆ 事業にたずさわる一人ひとりが、かけがえのない財産です。◆ ルールを守り、品位を保つとともに社会的良識をわきまえ行動します。
輸送の安全確保に係る行動規範	<ol style="list-style-type: none">1. 全社一致協力して、輸送の安全確保に努めます。2. 法令や規程を理解・遵守して職務を遂行します。3. 常に輸送の安全に関する状況の理解に努めます。4. 確認の励行に努め、最も安全な取扱いをします。5. 事故災害時には人命救助を最優先に行動します。6. 情報を漏れなく伝達して、透明性を確保します。7. 常に問題意識を持ち、変革に果敢に挑戦します。

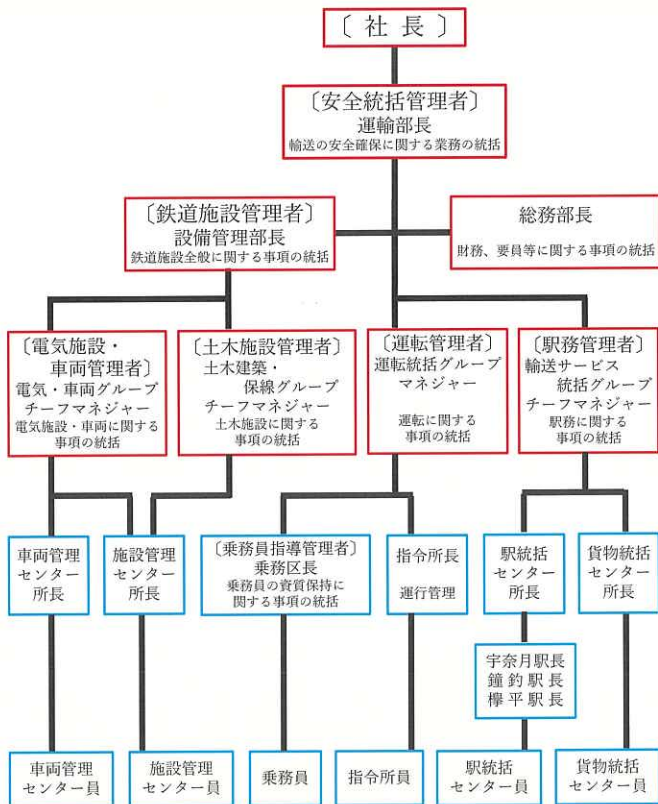
4. 安全重点施策

2025年度は「安全最優先の浸透と徹底」をスローガンに掲げ、下記の重点実施項目に取り組んできました。

	活動項目	活動内容
安全最優先の浸透と徹底	1. 従業員一人ひとりへの安全・安心意識の浸透と徹底	<ul style="list-style-type: none"> 「輸送の安全確保に係る行動規範」の浸透による揺るぎない安全文化の醸成 確実な指差呼称確認による基本動作の徹底及び作業手順の厳守によるヒューマンエラー防止 作業前打合せの確実な実施及び安全コミュニケーションによる安全作業の推進
	2. 安全マネジメントの更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリ・ハット情報の登録推進及び登録情報の原因分析と対策による事故の未然防止 他社事故事例等の情報共有及び当事者意識を持ったディスカッションによる同種事故の未然防止 安全の確保に向けた全社的な取り組みの推進 安全に関する内部監査の実施
	3. あらゆるリスクを想定した危機管理・対応力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 高まる自然災害リスクの遁減と防犯対策の強化 災害及び事故等に直面した際の対応力向上
	4. 安全・安心な鉄道運行	<ul style="list-style-type: none"> 専門技能の継承及び技術力向上による安定輸送の確保
	5. 高経年・老朽化・強靱化への計画的対処の推進	<ul style="list-style-type: none"> 設備改修計画に基づく安全対策の確実な実施

5. 安全管理体制

- (1) 輸送の安全確保に関する体制
当社の安全管理体制は次のとおりです。



(3) 安全管理方法

- ① 輸送安全委員会を毎月1回定期的に開催して、次に掲げる事項に関して審議・調整するとともに、定期報告によって管理者間で情報の共有を図っています。

審議調整事項	・安全確保に関する目標および計画の策定
	・内部監査の計画および実施結果の確認
	・安全重点施策の取り組み状況
	・事故、障害が発生した場合の再発防止対策
	・安全報告書の内容
定期報告事項	・運輸局からの指示事項
	・事故、障害の発生状況
	・教育訓練の実施状況
	・工事、作業の進捗状況
	・ヒヤリハット情報の登録状況

- ② 安全マネジメントが確実に機能しているか内部監査等を通して確認し、必要に応じて見直しや好事例の水平展開に努めています。
- ③ 事故や災害が発生した場合には、関係者が協力して迅速かつ的確な対応を行うとともに、関係者で検討会を開催して原因の究明と対策を決定し、再発防止に取り組んでいます。
- ④ 係員の育成および教育に関する社内基準を定め、計画的に資格取得や教育訓練を実施し資質の向上を図っています。

6. 事故・災害等の発生状況

(1) 事故・災害の発生件数

鉄道事業法第19条および第19条の2に規定する、直近3ヶ年の事故・災害発生件数は次のとおりです。

		2023年度	2024年度	2025年度	
輸	電気施設	0	1	1	
	車両	0	1	0	
	土木施設	0	0	0	
送 障 害	自然	水害	0	1	1
		風害	0	0	0
		雪害	0	0	0
	災害	雷害	0	0	0
		震害	1	0	0
		落石	0	0	0
		倒木	2	1	0
		その他	0	0	0
		合計	3	4	2

(2) 輸送障害の対応

2025年度に発生した輸送障害について、次の対応を実施しました。

項目	区分	発生日時	状況	対応
電気施設	軌道回路	7月16日 14時32分	出平～猫又間で軌道回路が不正短絡 運休なし 最大遅延35分	出平～猫又間代用閉そく施行による運行 歩行板撤去により復旧完了
自然災害	水害	8月7日 10時34分	出平～猫又間において大雨により沢水が増水し、堆積した土砂が線路内に流入 運休27本	冬期歩道等を使用し徒歩にて乗客避難誘導 線路内流入土砂撤去し復旧完了 終日運休

7. 安全性向上への取り組み

(1) 安全運転の確保

① 的確な情報伝達と共有化

- 異常時には迅速に情報収集を行うとともに、関係箇所への情報連絡により、安全運行を確保しています。
また、雨量計・風速計のデータ把握および緊急地震速報受信装置により、大規模地震に伴う事故の未然回避と被害の軽減に取り組んでいます。
- 安全マネジメントの更なる充実を図り、ヒヤリハット情報の登録推進およびデータ活用による事故の未然防止に取り組んでいます。
- 列車の空転・滑走対策として対応マニュアルを定め、運転技術の向上に努めています。

② 運転阻害要因の排除

- a. 車両入換時における手順の遵守、適切な位置取りでの合図および相互確認による阻害要因の排除に努めています。
- b. 沿線での作業・工事施工時の作業実施要領を定め、運転阻害要因を排除するとともに、沿線の安全パトロールを行い、作業現場における安全確保への協力を要請しています。

③ 安全意識の高揚

輸送に係る従業員を対象に年間の安全目標を設定し、定期的に自己評価を実施しています。また、朝礼や点呼時に声に出して再確認することにより、安全に対する意識の高揚を図っています。

(2) 人材育成

輸送に係る係員の補充を確実にを行い、常に必要人員を確保しています。また、各部門において職種別に安全面および技術面の必要な教育を実施しています。

その他、社外講師による専門研修の受講および各種講習会への参加等により、人材育成に努めています。

① 乗務員の資質管理

役職者による運転技能の添乗指導や作業の立会指導を計画的に実施し、乗務員の資質維持管理に努めています。直近3ヶ年の添乗指導実績は次のとおりです。

		2023年度	2024年度	2025年度
総添乗指導回数		763	824	724
被指導者数	運転士	26	23	21
	車掌	15	18	19
	合計	41	41	40
一人当たりの平均指導回数	運転士	17	19	17
	車掌	21	21	20

② 事故・災害時の訓練

冬期の営業休止期間を活用して、事故・災害時の対応訓練を実施しています。

2025年度の訓練内容は次のとおりです。

a. 2026年1月15日 冬期乗務員教育

自然災害時における乗務員相互の連携と対応力の向上



b. 2026年2月18日 冬期乗務員教育

テロ行為等における乗務員相互の連携と対応力の向上



c. 2026年3月17日 冬期乗務員教育

危険予知訓練及び代用閉そく取扱い教育



- d. 2026年2月19日 運輸部情報連絡訓練
運行障害発生時に発令される運行支障ランクに基づく
運輸部各所属間の情報連絡訓練
- e. 2026年3月11日 全社非常災害訓練
非常災害を想定した実務訓練
- ・状況把握、情報収集、情報伝達
 - ・乗客の避難及び誘導
 - ・負傷者の救出・救命救護等における関係各所との連携



③ 駅統括センター実技講習

駅業務に従事する係員を対象に、実務能力およびサービス対応力の向上を図るため、各種機器の取扱いや接遇等に関する実技講習を実施しています。

a. 2026年2月19日 代用閉そく取扱い教育



b. 2026年3月19日 サービス介助実技講習



c. 2026年3月19日 火災報知器の取扱いおよび初期対応講習



④ 車両管理センター実技講習

車両管理業務に従事する係員を対象に、車庫線における入換教育および脱線等を想定した復旧訓練を実施し、対応力の向上に努めています。

a. 2025年5月2、4日、10月22、24日 車庫線入換教育

b. 2025年8月4日 客車脱線復旧訓練



(3) 設備の信頼性確保

① 橋梁・トンネル等の健全度把握

橋梁・トンネル等の健全度を点検調査し、その結果に基づき長期改修計画を策定して改修を行うことで、設備の信頼性確保に努めています。

② 設備の老朽化対策と強靱化

変電所および機関車・客車並びに軌道の老朽設備は計画的に更新し、設備の信頼性確保に努めています。

2025年度の設備投資は次のとおりです。

区分	投資内容	投資金額(百万円)
電気設備	笹平変電所直流電源装置取替	12.7
	支持柱建替 (電車線支持柱「笹10,11号柱」)	15.1
	猫又駅通信機械室保安器盤取替	10.6
	出平受電盤取替	8.1
	隧道用信号機購入	6.2
	回路制御器購入	2.7
	車両	電気機関車SIV装置修理
内燃機関車24号 全般検査		38.6
除雪車SP2 10年検査		39.5
土木設備	木製枕木の更新 (RC171本、合成16本)	7.4
合 計		166.2

8. お客様等とのコミュニケーション

(1) お客様からのご意見

お客様のご意見・ご要望を広くお聞きするため、インターネット予約時や駅に掲出しているQRコードからアクセスできるWebでのアンケートの仕組みのほか、ホームページにおいてもお問い合わせ欄を設けております。

こうして寄せられたお客様の声は、毎月社長以下で構成される「戦略会議」で共有され、お客様サービスに反映しております。

(2) お客様へのお願い

お客様に対する「鉄道テロ防止へのお願い」といたしまして、駅構内にポスターを掲示するとともに、案内放送等によりご協力をお願いしております。

あわせて、美しい黒部峡谷の自然を守るため、環境美化についてもご理解・ご協力をお願いしております。

そのほか、当鉄道は険しい山岳を縫うように敷設され、発電所建設を目的としていたこともあり、非常に狭いトンネルや建築限界いっぱい鉄道施設があります。このため、輸送の安全確保の観点から「走行中の窓から顔や手を出さないでください」と車内放送により、お客様へご理解・ご協力をお願いしております。

(3) 従業員との対話

経営計画の策定にあたり、全従業員を対象とした説明会を開催し、意見交換を行っております。また、各職場においても定期的に懇談会を実施し、現場の意見や要望を把握するとともに、職場環境の改善に努めております。

(4) 関係者との協働

当社の工事や保守を担う協力会社と「安全衛生推進会」を組織し、作業の安全確保および事故防止に取り組んでおります。

また、地元消防機関と「鉄道災害連絡協議会」を構成し、災害発生時の迅速な対応および連携強化に努めております。

9. 安全の取り組みに関するご意見

本報告に関するご意見・ご感想を、今後の安全に対する取り組みに活かしてまいりたいと考えておりますので、下記までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

◆ 当社ホームページ → お問い合わせ → 「その他お問い合わせ」

※ 記載されたお客さまの個人情報は、お客さまとの連絡以外には使用いたしません。